

あいおい損保公式携帯サイト 新メニュー「AEDの使い方」を提供開始！

2009年10月2日

あいおい損害保険株式会社(社長:児玉 正之、東京都渋谷区恵比寿1丁目28番1号)は、携帯電話向けコンテンツとして、2009年10月5日より、あいおい損保の公式サイトに「AEDの使い方」を掲載開始いたします。

この「AEDの使い方」は愛知県が開発し県のホームページに掲載していたものを、愛知県の承諾を得て当社が携帯電話から閲覧できるようにしたものです。

AEDは人命救助の有効なツールとして、駅や公共施設など全国の主要な場所に設置されていますが、咄嗟の際に正しい方法で使用することが大変重要です。

今般提供する「AEDの使い方」は人命救助の観点から、AEDの操作方法をはじめ、突然の心肺停止時の意識・呼吸の確認方法や心肺蘇生方法(人工呼吸・心臓マッサージ)をご紹介します。

従来より、あいおい損保の公式サイトでは、お客様一人一人の「手のひらに安心を！」を目指し、事故時の対応マニュアルや運転適性診断など、事故の防止と事故時の対応支援メニューを掲載してまいりましたが、今般のメニュー追加がさらに皆さまのお役に立てればと考えております。

◆「AEDの使い方」画面イメージ

AEDの使い方 	AEDの使い方 	AEDの使い方 	AEDの使い方 	AEDの使い方 
<p>突然の心肺停止、それは決して他人事ではありません。日本では1日に約100人の方が心筋梗塞などの突然の心肺停止により亡くなっています。</p> <p>いざという時に役立つAEDの使い方と心肺蘇生法をご紹介します。</p> <p>→次へ</p> <p>[出展] 愛知県 詳しくは下記サイトをご覧ください。</p> <p>▼愛知県(PCサイト) 「あいおいAEDマップ」 よくあるお問合わせ</p>	<p>[4]心臓マッサージ</p> <p>乳首と乳首を結んだ中心に手のひらの付け根を置き、もう一方の手を上重ねます。</p>  <p>両肩を手の真上に位置させ、腕はまっすぐに伸ばして垂直に圧迫する。</p>  <p>胸が4、5センチ下がる程度に押します。胸骨圧迫の速さは、1分間に100回程度を目安に行う。</p>  <p>胸骨圧迫を30回、人工呼吸を2回行う。</p> 	<p>[5]AED操作方法1/4</p> <p>電源を入れる。</p>  <p>以降はAEDの音声ガイドに従って操作を行います。 *ふたを開けると自動的に電源が入るものもあります。</p> 	<p>[5]AED操作方法2/4</p> <p>パッドの図に従い、電極パッドを装着。パッドを貼る間も対処を続けます。</p>   	<p>[5]AED操作方法3/4</p> <p>▼チェックポイント</p> <ul style="list-style-type: none">◎通電に障害があるもの汗や水で濡れていないか⇒拭き取る貼り薬などはないか⇒はがして薬を拭き取ります胸毛は濃くないか⇒パッドで胸毛をとり、新しいパッドを貼ってください。◎AED-スマーカが埋め込まれている場合位置が逆さになります。AED-スマーカから2-3センチ離れた位置に貼ってください。 